

令和5年度

福知山市教育委員会

# 点検・評価報告書

(令和4年度施策・事業対象)

令和6年1月

福知山市教育委員会

## 目 次

1	はじめに	1
2	令和4年度での教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言	2
3	市教育行政の全体像	3
4	令和4年度の取り組み状況	4
5	教育委員会議、協議会の開催状況	1 1
6	教育委員会議での審議状況	1 1
7	教育委員会議以外の活動	1 6
8	教育委員会議の評価	1 7
9	施策の取組状況評価	1 8
	(1) 点検・評価の対象	1 8
	(2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法	1 8
	(3) 評価委員による評価	1 8
	(4) 評価総括表（委員の主な意見）	1 9
10	おわりに	2 9
11	資 料	
	(1) 教育委員会組織機構図	3 0
	(2) 教育委員会事務分担表	3 1
	(3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱	3 2

## 1 はじめに

福知山市教育委員会では、教育行政の充実を図るとともに市民への説明責任を果たすことを目的として、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和4年度の教育委員会の事務事業を「まちづくり構想 福知山」に示す施策について、点検・評価を実施し、本報告書を作成しました。

これは、これからの教育委員会のあり方を問われているものであり、市民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していくことを強く求められているものです。

この点検・評価結果を教育行政の効果的推進に向けて、教育行政全般において各々の事業がもつ位置づけや目的、事業のあり方などを意識しながら、今後の教育行政の推進に適切に反映させていきたいと考えております。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律〔抜粋〕(平成20年4月1日施行)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 令和4年度福知山市教育委員会委員

教育長	廣	田	康	男
委員	塩	見	佳	扶子（教育長職務代理者）
委員	和	田	大	顕
委員	加	藤	由	美
委員	織	田	信	夫

## 2 教育委員会事務点検・評価委員の意見・助言

・新型コロナウイルス感染の終息が見えない中、各施策の実施にあたり、社会の変化や市民ニーズの把握に努め、実効性のある事業を着実に実施し、住民等へのサービスの低下や事業の遅滞を招くことがないよう努めている。

・点から面への事業展開を図り、関連機関等との連携はもとより、日常的な情報共有により着実な成果を上げており、誰一人取り残さない社会の実現に向けての取り組みを展開している。

・多様な学びの創出や、図書館サービスの利便性の向上、地域公民館 Wi-Fi 環境整備による機能充実等、市民生活と密接に関わりのある取り組みとして成果を上げているが、今後も学力の向上や生涯にわたっての学習活動への支援など、ICTを幅広く活用した教育環境の充実への取り組みを期待する。

・安心して出産、子育てができる環境、そして生涯において市民が安心して生活できる環境となるよう、刻々と変化する社会の状況を見極め、市民のニーズを踏まえながら事業を推進していただきたい。

・複雑化、多様化、高度化、深刻化する社会的な課題に対して、それぞれの現場で新たな知識や技術を身につけることが求められているが、同時に教育現場においては人との出会いを通じた人材の育成がより重要となってきている。これらの課題を踏まえた、さらなる事業展開を期待する。

### 3 市教育行政の全体像

憲法と教育基本法の理念に基づき、多様性あふれる高次機能都市の実現に向けて、社会変化に対応できる調和のとれた、心豊かな人づくりを目指しています。

そのためには、未来を担う子どもたちが目標を持ち、自ら学び自ら考え、夢に向かってたくましく生きていくためのよりよい環境を最優先に考えて整備し、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の増進などの「生きる力」の育成と生涯学習の積極的な推進を目標に、学校教育と社会教育が緊密な連携を進め、家庭・地域社会・学校の実態に即して、中長期的な展望に立った特色ある教育活動により、「教育のまち福知山」を創造していかなければなりません。

#### 【教育のまち福知山】

「教育のまち福知山」という言葉は、昭和 50 年代のはじめ、本市教育委員会が展開した「こだま教育運動」の中で生まれた。この運動は、家庭、地域社会がそれぞれの役割・責任を自覚し、互いに高まり合おうとする心がこだまし合って教育を尊ぶ気風のあるまちの創出をめざしたもので、「響育(共育)運動」といえるものであった。今もその精神は脈々と受け継がれており、教育によって学んだことを、自分の幸せや夢の実現のため(自己実現)に生かすだけでなく、人のため(他者貢献)に、社会のため(社会貢献)に生かそうとする志をもった市民が育つまち、そんな市民を育てようとする気風があるまちが「教育のまち福知山」である。

#### 福知山市教育の基本方針

##### 《基本方針 1》

お互いを尊重しながら、共に育み、共に育つまち

##### 《基本方針 2》

いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち

##### 《基本方針 3》

その人なりの生きがいを持ち、健やかで活動的なまち

#### 福知山市の教育がめざす教育の方向

福知山市の教育がめざす方向は、知性を磨き、徳性を高め、健全で自立した人格をはぐくみ、併せて人々の幸福と社会の発展に寄与する行動力を兼ね備えた、新しい時代を切り拓く人材の育成にあります。

#### 福知山市の教育目標

自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成  
(自己実現) (他者貢献) (社会貢献)

#### 【福知山市の教育目標】

この目標は、福知山市の「こだま教育運動」の精神や、「教育基本法第 1 条及び第 2 条第 3 項」並びに、福知山市の「市民憲章」を受けて定めたものである。

## 4 令和4年度の取り組み状況

### ○児童生徒の学力

令和4年の京都府学力診断テスト

令和4年度については、令和5年度京都府学力・学習状況調査の一人一台タブレット端末を使用したオンライン実施への移行準備のため実施していない。

令和4年度全国学力・学習状況調査(概要)

実施日 : 令和4年4月19日(木)

対象者 : 市内14小学校 6年生643人  
市内9中学校 3年生592人

受検科目 : 小学校 国語・算数・理科  
中学校 国語・数学・理科

実施主体 : 文部科学省

実施目的 : 義務教育の機会均等とその水準維持向上の観点から全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

結果概要 : 小学校では、国語と理科は全国平均を上回り、算数は全国平均と同程度である。

国語では、登場人物の相互関係について複数の描写をもとに捉えること、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに課題が見られた。算数では、目的に合った数の処理の仕方を考察することや図形の概念をもとに考察することに課題が見られた。理科では、観察をもとに気づいたことから課題を見つけ出したり、実験結果をもとに考察したりすることに課題が見られた。

中学校では、国語と理科は全国平均(正答率)を少し下回っている。数学は全国平均(正答率)を下回っている。国語では、必要な情報を資料から引用して書くこと、叙述に即して文章を読み取り、登場人物の心情の変化をとらえることに課題が見られた。数学では、基本的な知識・技能の定着や、筋道立てて考え説明すること等数学的な見方や考え方に課題が見られた。理科では、特にグラフを読み取り天気図を問う問題、飛行機雲の出現と湿度との関係を問う問題等、地球領域の課題が大きかった。また、実験結果から分かることや考察する力にも課題が見られた。

以上が、令和4年度に行われた全国学力・学習状況調査の概要である。調査から見える課題を整理し、学習指導要領の趣旨を生かし、児童生徒の学びの連続性を重視して学力向上の一層の充実を図っていくことが重要である。「福知山授業スタンダード」を活用し、付けたい力を明確にした「めあて」から「振り返り・確かめる」までの小中一貫した学びのスタイルを共有して、主体的・対話的で深い学びを小学校から積み上げていく必要がある。また、タブレット端末をはじめとするICT機器活用の効果を検証し、今後も有効な活用を進めるとともに、従来からの繰り返し読む・書くなどの学習とを効果的に組み合わせ、学力向上を図っていく。

福知山市では、教育委員会としても、学力の現状や現場のニーズを踏まえ、教育施策や教育施設等の教育環境の改善・充実を図り、事業等の成果指標に基づいた取組を進め、質の高い学力の充実・向上のために引き続き積極的な支援をしてきたい。

## 〇いじめの状況

令和4年度中に実施した3回のいじめ調査（京都府2回、市独自1回）では、本市立小・中学校でいじめを認知した件数が、小学校で1,695件（前年+49件）、中学校で132件（前年+20件）であった。生命に関わる、また一定期間（年間30日間を目安とされている）学校の欠席を余儀なくされるような重大事案はなかった。認知したいじめについては、学級担任等から個別に聞き取りをするなど、些細ないじめも重大ないじめに発展する可能性があるという認識のもと、個々の事案への対応をていねいに行っている。

令和4年度においても重大事案につながる可能性のある事案は見られなかったが、人間関係のトラブル等に起因して登校しにくい児童生徒も見受けられたため、今後もアンテナを高くし、学校と教育委員会が連携して指導、支援を行いながら解決に導いていく。

学校では、「未然防止、早期発見、迅速な対応、継続した見守り」をいじめ防止の基本としながら、いじめ調査のみならず、定期的実施する生活アンケートや教職員による児童生徒の面談（悩み相談）を実施するなど、日頃から児童生徒や保護者の思いに寄り添いながら、継続的・日常的に把握に努めている。

いじめをはじめ、自殺、児童虐待等子どもに関する問題が社会化していることを受けて、本市では教育委員会とPTAが共催でネットいじめ防止を目的とした「いじめ防止講演会」や、親子で学ぶ「ネットトラブルストップ講座」を毎年継続して実施するなど、家庭や地域と連携したいじめ根絶の風土づくりに取り組んでいる。

各校におけるいじめ防止にかかる取組を一層、充実させるとともに、学校のみならず地域や保護者との共通理解のもと、連携した取組を継続していく。

## ○不登校の状況

不登校の児童生徒数は、国や京都府の状況と同様に本市においても大きく増加傾向が続いている。学校としては、年間30日を越える長期欠席者（とりわけ不登校）の未然防止（新たな不登校を生まない取組）や、個別指導の体制を整えること、また、関係機関と連携して個々に応じた支援ができるように取り組んでいる。

不登校総合対策事業である「心の居場所づくり推進事業」において、不登校の児童生徒が通う「けやき広場」では、不登校児童生徒の個々に応じた自立支援（学校復帰も含む）の取組を実施した。

令和4年度より福祉との連携、とりわけ家庭支援を含めた取組として「不登校支援連携チーム」を設置し、不登校児童生徒への支援を広げ、一定の成果をあげた。

教育相談では、福祉や医療分野と密接な連携を必要とする複雑・困難なケースが増えているなか、教育相談員、臨床心理士を中心に適切な支援を行っている。

不登校の未然防止・早期発見のため配置されている子どもよりそい支援員は、家から出にくい児童宅を訪問したり、教育相談に応じるなど家庭生活の基盤づくりへの支援を行った。また、スクールカウンセラーや心の居場所サポーター等と連携し、家庭と児童生徒、学校とをつなぎ、児童生徒の心の安定や教室復帰に寄与している。

本市の不登校児童生徒数・出現率の推移

	小 学 校	中 学 校
令和2年度	42人 (出現率 1.01%)	98人 (出現率 4.91%)
令和3年度	52人 (出現率 1.27%)	122人 (出現率 6.28%)
令和4年度	53人 (出現率 1.31%)	137人 (出現率 7.01%)

### 【参考】

#### 不登校とは

年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数のうち、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しない、またはしたくともできない状況にあること（ただし、病気や経済的理由によるものを除く）と文部科学省は定義している。

また、文部科学省の通知において、不登校児童生徒の支援に対する基本的な考え方として「学校に登校するという結果のみを目標にするのではなく、社会的に自立することを目指す必要がある」としている。

## ○主な事業

### 教育総務課

#### 1 小学校水泳指導委託事業

小学校における水泳授業について、安心・安全で質の高い学びの場を子どもに提供するため、市温水プールにおいて外部委託を行い、専門指導員による水泳授業を実施した。

令和4年度は大江小学校をモデル校として1学年70分の授業を4回実施、1回につき50名程度での授業とし、2学年ごとに7月中に7回、9月中に5回の授業を実施し、子どもの泳力および「命を守る」能力の向上を図るとともに、教職員の水泳授業運営にかかる負担を軽減し学校事務の効率化を進めた。

#### 2 小・中学校施設環境改善事業

便所改修や必要な特別教室に空調設備を新設するための設計業務を実施し、学校生活や学びに必要な環境改善を行った。

便所改修については、大正小学校管理棟、児童用、教職員便所の改修、南陵中学校特別教室棟の教職員用便所の改修を行った。

特別教室空調設備設置工事に伴う設計業務については、小学校3校（惇明・修斉・六人部）、中学校3校（桃映・六人部・日新）についてそれぞれ一括発注し、令和5年度の工事实施に向け教育環境の更なる改善を図った。

#### 3 小・中学校施設長寿命化事業

小・中学校施設の維持管理においてこれまでの「事後保全型」から損傷が軽微である段階で修繕を実施する「予防保全型」へと転換し、突発的な事故の軽減、改修費用の抑制を図った。

令和4年度は惇明小学校北校舎の高架水槽改修、雀部小学校の外壁改修、成仁小学校の受水槽改修工事を実施することにより緊急修繕を未然に防ぐことができ、施設の改善および長寿命化が図れた。

また南陵中学校特別教室棟の外壁改修については、計画的な工事を実施(R5年度～R6年度)するため、設計業務の外部発注を行い学校教育環境の整備を進めた。

## 学校教育課

#### 1 不登校対策推進事業

不登校や不登校傾向にある児童生徒が社会的に自立していくために必要な力を養うことができるよう、社会福祉士を新たに任用し、家庭訪問をはじめ、福祉と教育が連携のもと、不登校支援連携チームによる現状把握を行うとともに、先進地視察を実施したり、多様な学びの推進を図るための有識者会議を開催し意見を聞いたりして、今後の方策や体制づくりに向けた検討を進めた。

#### 2 「響」プラン・F 心の充実事業及びまなびの充実事業

令和2年度策定の福知山市立学校教育内容充実推進プラン（「響」プラン・F）に基づき、心の充実事業では、芸術や文化等の体験機会を充実させ豊かな人間性を育み、まなびの充実事業では、すべての子どもの学力向上・充実をめざして、非認知能力を評価する事業をはじめ、基礎学力の定着や学力向上たくましく生きていく力を育むことを目的とした取組を実施した。

## 生涯学習課

### 1 地域で支える「地域未来塾」開講事業

様々な理由により、家庭での学習が困難なことなどから、学習習慣が十分に身につけていない中学生への学習を支援し、元教員や大学生など地域住民の協力による学習支援を実施した。

市立中学校全9校で、地域支援コーディネーターを中心に、地域や学校等と連携しながら「地域未来塾」を開講した。

### 2 放課後児童クラブ運営事業

保護者等が就労等により、昼間見守りができない小学生に対し、放課後や学校休業日に安心して遊びや生活ができる場を提供することで健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援した。

市内15か所で実施し、全小学校の全学年を対象に児童を受け入れ、見守りを実施した。長期休業期間利用を含めた登録児童数は、1,537人であった。

## 学校給食センター

### 1 学校給食管理運営事業

本市の学校給食は、市内23の小中学校の児童生徒及び教職員約6,700人を対象に、年間約190回給食を提供している。学校給食の調理配送や設備の法定点検を含めた業務を民間業者に委託している。本市の学校給食は、センター方式であり、施設の衛生管理確保をはじめ、調理機器や施設設備を衛生的に維持管理することにより、安心・安全な学校給食を児童生徒に提供している。

### 2 学校給食費公会計化事業

学校ごとに行っていた学校給食費の徴収・管理を市が一括して行うことにより、給食費の徴収・管理に係る教職員の負担を取り除き、児童生徒と向き合う時間の確保や口座振替できる金融機関が増加することで保護者の利便性の向上を図ることなどが目的である。令和5年4月から実施する給食費の公会計化に向けて、学校給食管理システムの導入、パソコンやプリンター等の機器の購入や当該システムと連携する他システムの改修等の環境整備を行った。

### 3 学校給食センター設備改修事業

運営開始から10年近く経過した学校給食センターの附属施設や設備等に劣化が見られ、安定した学校給食を児童生徒に提供していくために、長期維持管理計画に基づき、都度計画の見直しも行い、施設・設備の修繕や工事、備品の購入等を行う。令和4年度は蒸気ボイラー更新工事、プレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫の室内機・室外機の更新購入等を行った。

## **図書館**

### **1 三和分館移転改修事業**

三和支所を地域の「教育と福祉の拠点」としての機能充実を図るため図書館三和分館を、三和会館から三和支所2階に移転配置することとし、内装改修及び、三和支所全体の照明改修（LED化）、空調改修の施工を実施した。当初、令和4年度末を予定していた移転は、事業繰越により、令和6年1月の移転開館となった。

### **2 図書館電子書籍貸出サービス事業**

図書館サービスの更なる利便性向上と「with コロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、24時間いつでもどこでも利用できる電子書籍貸出サービスを令和4年1月に導入し、来館型と非来館型を併用したハイブリッド図書館としてコンテンツの充実に努めた。

## **中央公民館**

### **1 桃映地域公民館等整備事業**

体育館内に設置している桃映地域公民館について、生涯学習、人権、福祉、住民自治、避難所等の機能を統合した新たな拠点施設として新築整備に着手した。

### **2 地域公民館等長寿命化（大規模改修）事業**

「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む地域公民館を、バリアフリーかつ現代的な社会環境を備え、住民福祉、住民自治、避難所等、多機能で複合的な機能を有した新たな地域の拠点施設として活用するため、計画的に大規模改修し整備する。

令和4年度は、日新地域公民館・体育館の大規模改修工事に着手し、六人部地域公民館の大規模改修設計を実施した。

### **3 地域公民館等スマートシティ推進事業**

デジタル化、オンライン化が急速に進む中、ICT機器の利用環境の整備に関する時代のニーズに応えるとともに、施設利用者へのサービス向上を図るため、川口、成和、大江の各地域公民館にWi-Fi機能の整備を行い、利便性向上により施設機能の強化・充実を図った。

## **文化・スポーツ振興課**

### **1 文化財保全事業**

貴重な文化財を後世に伝えるため13件の文化財所有者と協議を重ね、必要な保全や修理を行うことができた。

## **2 日本の鬼の交流博物館運営事業**

本市の地域資源である鬼をテーマにした資料を展示する鬼文化の拠点施設として管理運営を行った。企画展4回、シンポジウム1回を行い、年間10,722人の来館があった。

## **3 市内遺跡発掘調査事業**

今後の開発に対応する資料を得るため長田地区で上松遺跡の範囲内容確認調査を行った。調査の結果、中世の青磁片、陶磁器片が調査対象地内より出土し、中世の遺跡が存在する可能性が強まった。また、池ノ谷1号墳から出土した鉄刀を後世に伝えるため保存処理を行った。

## **子ども政策室**

### **1 幼児教育・保育無償化事業**

幼児教育にかかる保護者の負担軽減を図ることを目的として、国・府からの補助を受け子ども・子育て新制度未移行の私立幼稚園への保育料補助及び、公立含む幼稚園への給食費補助を行った。

### **2 幼稚園一般管理事業**

共働き家庭の増加等の保護者ニーズに対応すべく、令和2年度より夏季、令和3年度からは冬季及び学年末休業の預かり保育を実施している。令和4年度も引き続き事業を実施し、年間を通して保育の充実につなげる取組みを行った。

## 5 教育委員会議、協議会の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回「定例会」、必要に応じて「臨時会」を開催、また事前協議等のための「協議会」も開催しています。

- (1) 教育委員会定例会 . . . . . 12回
- (2) 教育委員会臨時会 . . . . . 6回
- (3) 教育委員会協議会 . . . . . 11回

## 6 教育委員会議での審議状況

### (1) 定例会・臨時会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第21条に定める職務について、同法第25条及び「福知山市教育委員会基本規則」第7条に定める事務について、令和4年度は合計36件について審議しました。

- ① 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること . . . 4件
- ② 委員会規則その他委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること . 6件
- ③ 教育予算、条例案、その他議会の議決を経るべき議案について . . . 13件
- ④ 法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱 . . . . . 3件
- ⑤ 委員会及び学校その他の教育機関の職員の人事に関すること . . . . 8件
- ⑥ 教育に係る表彰に関すること . . . . . 1件
- ⑦ 教育委員会点検・評価に関すること . . . . . 1件

令和4年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
4月1日	臨時	議 1 号		教育長職務代理者の指名について
4月28日	定例		報 1	教育長決裁による後援承認事項について (No.1)
			報 2	福知山市教育委員会事務局文書取扱規程の一部を改正する訓令について
			報 3	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
5月26日	定例	議 2 号		福知山市社会教育委員の委嘱について
		議 3 号		福知山市立図書館協議会委員の任命について
		議 4 号		令和3年度一般会計教育費繰越調書の提出について
			報 4	教育長決裁による後援承認事項について (No.2~No.8)
			報 5	人権教育に関する教職員の意識調査について
6月28日	定例	議 5 号		福知山市夜久野町文化コミュニティセンター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 6 号		福知山市立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 7 号		福知山市大江町過疎地域集会所施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		議 8 号		福知山市立公民館運営審議会委員の委嘱について
			報 6	教育長決裁による後援承認事項について (No.9~No.14)
7月27日	定例	議 9 号		福知山市スクールライフ応援事業実施要綱の制定について
			報 7	教育長決裁による後援承認事項について (No.15~No.18)
			報 8	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
8月23日	定例	議 10 号		令和4年度教育委員会表彰について
		議 11 号		令和4年度一般会計教育費補正予算要求書及び繰越調書等の提出について
		議 12 号		福知山市学校給食費の管理に関する条例の制定について
		議 13 号		工事請負契約の締結について
		議 14 号		物品の取得について
		議 15 号		継続費精算書の報告について
		議 16 号		令和5年度福知山市立幼稚園・こども園の園児募集について
			報 9	教育長決裁による後援承認事項について (No.19)
			報 10	就学援助(新入学児童生徒学用品費)入学前支給事務取扱要綱の改正について
9月21日	定例	議 17 号		職員の異動発令について
			報 12	教育長決裁による後援承認事項について (No.20~No.27)
			報 13	第59回全国小学校家庭科教育研究会全国大会京都大会について
			報 14	いじめ調査の結果について
			報 15	福知山市学校給食費の管理に関する条例施行規則の制定について
			報 16	管理職候補者の受験面接について

令和4年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
10月25日	定例		報 17	教育長決裁による後援承認事項について (No.28～No.32)
			報 18	福知山市立小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令について
			報 19	学力充実取り組みの進捗状況について
			報 20	杉本敬三シェフ考案学校給食メニューの実施について
11月18日	臨時	議 18 号		令和5年度福知山市立学校職員人事異動方針の策定について
			報 21	「職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備等及び経過措置に関する条例」の制定について
11月24日	定例	議 19 号		令和4年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書の提出について
		議 20 号		福知山市放課後児童クラブの設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について
		議 21 号		工事請負契約の締結について
			報 22	教育長決裁による後援承認事項について (No.33～No.34)
			報 23	令和4年度福知山市立図書館蔵書点検の実施について
12月2日	臨時		報 24	教育長の再任について
12月16日	臨時	議 22 号		福知山市立中学校教員の処分内申について
12月27日	定例	議 23 号		福知山市就学援助に関する規則の一部を改正する規則の制定について
		議 24 号		職員の異動発令について
			報 25	教育長決裁による後援承認事項について (No.35～No.41)
			報 26	令和5年福知山市二十歳を祝う会(旧成人式)について
			報 27	令和5年度入園 福知山市立幼稚園・認定こども園(教育認定枠)の募集結果について
1月25日	定例	議 25 号		令和5年度学校教育の重点について
		議 26 号		令和5年度社会教育の重点について
2月21日	定例	議 27 号		教育委員会事務点検評価について
		議 28 号		令和4年度一般会計教育費歳入歳出補正予算要求書及び繰越調書の提出について
		議 29 号		物品の取得について
		議 30 号		福知山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
		議 31 号		令和5年度予算事業概要について
		議 32 号		教職員人事異動内申について
			報 28	教育長決裁による後援承認事項について (No.42～No.45)
			報 29	福知山市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する要綱の制定について
			報 30	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について
			報 31	福知山市人権尊重推進条例について
	報 32	第4次福知山市人権施策推進計画について		
3月3日	臨時	議 33 号		教職員人事異動内申について

令和4年度 教育委員会議 議案等審議状況一覧表

開催日	種別	議案番号	専決番号	件名
3月15日	臨時	議 34 号		教育委員会事務局及びその他の教育機関の職員の異動発令について
3月23日	定例	議 35 号		福知山市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の私有車利用による旅行に関する規程の制定について
		議 36 号		福知山市教育委員会基本規則の一部を改正する規則の制定について
			報 33	教育長決裁による後援承認事項について (No.46~No.49)
			報 34	福知山市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について
			報 35	福知山市教育委員会事務局文書取扱規程の一部を改正する訓令について
			報 36	心の居場所づくり推進事業 施設運営要領の一部改正について
			報 37	令和5年度新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直しについて
			報 38	令和4年度 福知山市立図書館蔵書点検結果報告について

## (2) 教育委員会協議会

「福知山市教育委員会基本規則」第4条により開催した協議会において、  
案件一覧表のとおり令和4年度は合計20件について協議しました。

### 令和4年度 教育委員会協議会 案件一覧表

開催日	番号	件名
4月28日	1	教育長報告事項について
	2	令和4年度中丹地方教育委員会連絡協議会総会・研修会について
	3	総合教育会議について
5月26日	4	教育長報告事項について
6月28日	5	教育長報告事項について
	6	令和4年度学力診断テストの実施予定等について
7月27日	7	教育長報告事項について
8月23日	8	教育長報告事項について
9月21日	9	教育長報告事項について
10月25日	10	教育長報告事項について
11月24日	11	教育長報告事項について
	12	令和5年度学校教育の重点（案）について
	13	令和5年度社会教育の重点（案）について
12月27日	14	教育長報告事項について
	15	令和5年度学校教育の重点（案）について
	16	令和5年度社会教育の重点（案）について
1月25日	17	教育長報告事項について
	18	教育委員会事務点検評価について
	19	令和5年度小中学校入学予定者数について
2月21日	20	教育長報告事項について

## 7 教育委員会会議以外の活動（教育委員が出席した活動等）

月	各種行事・大会等	
	福知山市関係	国・府関係
4月	新任校長就任式 市政85周年記念式典 第1回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	
5月	第1回総合教育会議	中丹地方教育委員会連絡協議会教育委員総会・研修会 京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
6月	指導主事学校園訪問参加	みんなでコラボ in 中丹
7月	指導主事学校園訪問参加 青少年健全育成大会 第2回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	中丹地方教職員研修大会
8月	学校教育振興会研修会	
9月	指導主事学校園訪問参加	市町村教育長・教育委員研究協議会
10月	指導主事学校園訪問参加	
11月	全国小学校家庭科教育研究会全国大会京都大会 指導主事学校園訪問参加 杉本敬三シェフ考案学校給食メニュー実施 教育委員会表彰	近畿市町村教育委員会研修大会
12月	第3回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	
1月	令和5年福知山市二十歳を祝う会 第2回総合教育会議 教育実践論文「けやき賞」表彰式	
2月	第4回福知山市立幼稚園、こども園、小・中学校校（園）長会議	
3月	大江放課後児童クラブ竣工記念式典 市立小・中学校卒業式	

## 8 教育委員会議の評価（成果と課題）

### 【成 果】

- 1 事務局から事前に資料提供を受け、各教育委員は十分に内容把握の上、会議に出席し検討を行った。また、会議では、活発な意見交換を行い、議案等の審議においても事務局からの説明に対して必要な指摘や質問を行った。
- 2 緊急な案件について、適宜適切に報告をうけ、教育委員会と事務局との一層の連携を図った。特に重要な事案については迅速に臨時の教育委員会を召集し対応した。
- 3 教育委員会のホームページに教育委員会議の会議録を掲載することにより、情報発信ができた。会議の討論内容を公開することで、市民に広く周知する機会をつくることができた。
- 4 これからの福知山市の教育について、総合教育会議で市長と協議・調整することで連携することができた。
- 5 指導主事の学校訪問に教育委員も積極的に参加し、学校経営の様子や児童生徒の様子を確認することができた。

### 【課 題】

- 1 市民に開かれた教育委員会議となるように、教育委員会の取組を迅速に広報することにより、さらに市民の関心や理解を深める。
- 2 研究大会や研修会に参加した成果を相互に情報共有し、共通理解をし、さらなる充実した会議につなげる。
- 3 総合教育会議等を通じ、市長部局との連携を深め、教育施策の方向性を共有する。
- 4 「自分のために、人のために、社会のために、共に幸せを生きる人材の育成」を目標とし、「教育のまち福知山」のさらなる充実を図る。

## 9 施策の取組状況評価

### (1) 点検・評価の対象

教育委員会が行った全事業（補助執行事業を含む）

### (2) 点検・評価の自己（教育委員会）評価方法

事務事業評価シートの「施策・施策成果指標に対する貢献度」は、当該事業の上位施策や施策成果指標に対する貢献度を4段階（高い・やや高い・やや低い・低い）で自己評価しています。

教育委員会の点検・評価については、事務事業評価シートの業績指標の「成果実績（実績／目標）」に重点を置き点数化しました。

また、「成果実績（実績／目標）」のほかに「定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題」も含めて、事業単独での成果を達成度により評価し、4段階（高い5点・やや高い4点・やや低い2点・低い1点）で点数化しています。

教育委員会としては、「まちづくり構想 福知山」の施策毎に評価点の平均値を算出し、下記の「施策の評価基準」に基づき、4段階（A・B・C・D）での評価としました。

なお、事業毎の成果実績に対する評価点については、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮した評価としています。

#### ○施策の評価基準

評価	基準	施策毎の平均値	施策毎の目標達成度
A	目標に対し達成度が高い	5.0	100%
B	目標に対し概ね達成できている	4.0～5.0未満	75%～100%未満
C	目標に対し達成度がやや低い	3.0～4.0未満	50%～75%未満
D	目標に対し達成度が低い	3.0未満	50%未満

### (3) 評価委員による評価

評価に関しては、教育に関し学識経験を有する方の御協力を得て、教育委員会から主な事業の説明を行い、自己評価を基に評価委員から客観的にA・B・C・D「+、-」で評価をしていただきました。

教育委員会事務 点検評価委員（敬称略）

氏名	所属等
井上雅道	元小学校長
佐々木康子	主任児童委員
大谷杏	福知山公立大学准教授

点検・評価会議開催期日

令和5年10月19日、10月23日、10月30日

#### (4) 評価総括表(委員の主な意見)

政策	施策目標	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
1	1.協働・共創のまちづくり基盤の整備	①地域組織や地域活動の活性化	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動を維持、継続できている。</li> <li>・住民活動に根差した公民館活動が、全市規模で継続実施できたことは評価できる。</li> <li>・今日的課題である地域活性化の基礎となる活動であるので、持続的な展開を希望する。</li> <li>・今後についても特色、地域性を踏まえて継続していただきたい。</li> </ul>	B
2	1.防災・減災、災害対策の強化	①地域防災力の強化と減災対策の推進	5.0	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の中学校において実践的訓練を行ったとのことであり、取り組みとしては発展途上の段階であるが、指導案の作成が進んだことは評価できる。</li> <li>・防災、減災の視点で、発達段階に即した訓練を行っていることについて評価できる。今後、命の大切さにも着目させながら、実践的な態度の育成に向け継続した取り組みとなるよう希望する。</li> <li>・自助、共助の取り組み、地域との連携を含めた内容となっている点について評価できる。</li> </ul>	A-
3	1.互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造	③多文化共生とユニバーサル社会の推進	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の意見が反映されている貴重な事業であり、内容も充実しているが、参加者が固定されていることが課題である。</li> <li>・学習の機会や社会参加のきっかけとなる事業であり、コロナ禍においても多様なニーズに応じた取り組みを創意工夫しながら推進されたことを評価する。今後は、参加者の拡大と参加の促進に向けて努めていただきたい。</li> </ul>	B
	2.すべての子どもが大切にされる地域づくり	①課題を抱える子どもの支援の充実	4.7	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールサポーター配置事業では、合理的配慮に基づいた対策ができており評価できるが、学校からの要望に応えていないことが課題である。また、就学指導事業では、看護師の派遣についてシステム作りが必要であり、見直しが必要となる点が多いことが課題である。</li> <li>・児童生徒の修(就)学に向けた様々な制度の構築や支援体制の充実、拡充等、予算措置の中で現場の実態に即して執行し、保護者負担の軽減や児童生徒の学びの確保に努めたことは評価できる。</li> <li>・様々な社会状況の変化の影響を受けやすい家庭の状況を把握することに努め、丁寧な制度の説明や他機関との連携等きめ細かな支援に向けて、児童生徒の修(就)学に支障をきたすことがないように努力願いたい。</li> <li>・従来の枠組みにとらわれず新たなシステムの構築が必要ではないか。</li> </ul>	B
		②地域全体で子育てを支える機運の醸成	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブは、利用者が増えていく中、国の基準に基づき、安全性の確保やより一層のニーズの把握等、対応が必要である。</li> <li>・地域ぐるみで安心して子育てできる環境づくり、保護者が安心して就労できる環境の整備、子どもが大切にされる環境や地域づくりに努め、従来から積み上げてきた取り組みを一層充実させ、実態に即した実効性のある取り組みが行われていることについて評価できる。今後は、企業や各種団体と協働し、すべての子どもが大切にされる機運が高まっていくことを期待する。</li> <li>・放課後児童クラブは、指導員の確保が課題である。</li> <li>・必要な手続きについてはわかりやすく、利便性のあるものにしてほしい。</li> </ul>	B
3.安心して出産、子育てできる環境の充実	②就学前の保育・教育の推進	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児教育保育無償化事業については、手続きを行っていない保護者が一定数いると思われることや、幼稚園児教職員健康管理事業では、未受診の子どもがいる点が課題である。</li> <li>・多様化する子育て家庭の負担軽減を図るため、無償化や利用者の利便性の向上に向け、きめ細かに対応されていることを評価する。</li> <li>・幼稚園管理運営事業では、保育ニーズの状況を踏まえ、入園希望者の目線に立ち、保育の充実についても評価できる。今後も社会や経済状況の変化や保育ニーズなどを的確に把握し、市民の目線に立ち、安心して子育てのできる環境づくりに向け引き続き努力願いたい。</li> <li>・継続的な負担軽減の施策を進める必要がある。</li> <li>・安心して出産、子育てにおいては、保健師への指導なども大切となってくる。</li> </ul>	B	
4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	①地域総ぐるみの教育の場づくりの推進	4.4	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人コーチ派遣事業については、競技力の向上が成果としてあげられる。また、教員の負担軽減にもつながっており評価できる。</li> <li>・他の事業についても参加者が多く評価できる。</li> <li>・市民総ぐるみで育てる環境づくりを地域等の人材を活用し、発達段階に応じて計画的に連続性のある総合的な事業を展開していることを評価する。今後も、社会情勢や現状を的確に把握し先を見通した取り組みについて、活動内容とコストとの関連を考慮しながら積極的に推進することを望む。</li> <li>・地域未来塾については、地域との連携を図っている点について評価する。</li> <li>・成人式事業については、PRのひとつの場として活かすことを検討していただきたい。</li> </ul>	B+
		②子どもの学びと成長の土台づくり	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTのさらなる活用を図り教員の負担軽減につながる取り組みを進めていただきたい。</li> <li>・ICTのインフラ整備や児童生徒の多様な学びの創出による学びの場の確保など、総合的な取組みとして事業展開されていることについて評価する。今後も現状や実態を的確に把握し、課題を鮮明にしながら各施策との関連性を一層強め、実効性のある多面的で質の高い施策の実施に期待する。</li> <li>・タブレットの活用について機器の更新等が課題である。</li> <li>・子どもの居場所づくりについては、一層の支援強化が必要である。</li> </ul>	B+

#### (4) 評価総括表(委員の主な意見)

政策	施策目標	施策	教育委員会		委員の主な意見	最終評価
			平均値	評価		
4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	③豊かな人間性を育む教育の実践	4.3	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学外の事業については、より多くの機会が設けられるとよい。</li> <li>・キャリア教育の充実や豊かな感性や人間性を育むために体験的な学びの機会を充実し、校種に即して創意工夫した活動が実施できたことを評価する。</li> <li>・社会全体でいじめ根絶に向けた活動などいじめ防止への継続した取組を実施していることについても評価できる。今後とも心豊かに安心して生活や学習できる環境づくりや多様な体験的な学びの実施など、効果性や継続性のある取組に発展するよう期待する。</li> <li>・いじめ根絶に向けての取り組みについて評価する。</li> <li>・非行児童生徒に対する対策は今後も必要となる。</li> </ul>	B
	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	①生涯にわたり学び続けられる機会の充実	4.5	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議の提言については、より実効性のあるものとする必要がある。</li> <li>・生涯学習社会の実現に向けて共に幸せを生きる地域社会を支えるという役割を担う視点で、様々な事業を効率的・効果的に経費の適正化を行いながら、事業を推進されたことを評価する。今後は、提言を踏まえ本市の課題を学社連携・融合の視点で関連性を明確にしながら各事業を再構成し、効果性と実効性のある社会教育活動に事業展開されることを望む。</li> </ul>	B
		②公民館や図書館を生かした学びの場づくり	3.6	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情に応じた事業展開が必要である。</li> <li>・市民サービスの向上に向けて、利用者の多様なニーズに柔軟に的確に対応し、利便性の向上を図り、全国的にも先進的な図書館機能の充実やシステム化の充実、さらには地域住民センターとして公民館機能の向上など利便性の高い公共施設に生まれ変わりつつあることについて評価できる。今後は、施設を活用して住民の主体的な地域活動の促進や地域課題の解決に取り組む人材の育成についての環境づくりを望む。</li> <li>・読書活動については、より詳細な説明があることが望ましい。</li> </ul>	B
		③高校生など若者の学びへの支援	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要な家庭に支援が届いているのか、検証が必要である。</li> <li>・将来子どもたちが社会的・経済的な自立をする上で、希望進路の実現を図ることは学校教育の重要な課題であり、特に進学意欲がありながら経済的な困窮が起因して進学を断念せざるを得ないような状況を作らないことは言うまでもないことである。社会情勢や雇用の状況、家庭状況等が変化する中で、引き続き事業の周知を図り、誰一人取り残さないためにもきめ細かな支援に努めていただきたい。</li> <li>・より一層の制度周知が必要である。</li> </ul>	B
3.学びを深められる地域資源の継承・発展	①文化財の保護・活用と地域文化の継承	4.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の保護は、郷土の歴史や文化を理解するうえで重要であり、郷土愛を育んだり、特に地域づくりにとって大きな役割を果たすものである。文化財の保存や活用、調査は、次世代に継承するための地道な事業として、計画的に事業を展開されていることについて評価できる。</li> <li>・日本の鬼の交流博物館では、地域資産を活用し特色ある事業を展開し、他の事業とも連携しながら効果を高めていることについて評価できる。今後は、多面的で多様な連携と地域づくりの視点で地域活性化のモデルとしての役割に期待する。</li> <li>・文化財の保護とその継承をどのように行っていくかが課題である。</li> </ul>	B	
5	1.アクティブに人生を歩める生きがいづくり	③アクティブなまちの基盤となる地域の安心・安全	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安全で安心できるようなまちとするためには大切な事業である。</li> <li>・地域で子どもを見守るという意識を醸成し、児童生徒の命を守ることを最優先課題として、多面的に活動されていることを評価する。さらには、学校安全の意識を高め校外で活動を展開していることについても評価できる。今後は、危機に対する意識や情報の共有化、市民への周知等安全管理とあらゆる事態に備える危機管理に一層努めることを望む。</li> </ul>	B
7	2.仕事と調和の取れたライフスタイルの確立	①男女共同参画の推進	4.0	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が目標値を上回っていることについて評価できる。</li> <li>・女性の社会的な地位向上や人権問題、さらには男女共同参画社会の実現に向け、今日的課題の解決に寄与されているという認識に立ち、さらに様々な団体等との連携や協働を推進していくための環境づくりと地域づくりに活動の輪が広がることを期待する。</li> <li>・男女共同参画の視点から事業の継続を希望する。</li> </ul>	B+
9	1.公共施設の最適化	①持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置	4.9	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施については、優先順位の見極めが重要となるが、現在一定の取り組みを進めていることは評価できる。</li> <li>・長寿命化計画に基づいて、適正な維持管理と予算執行により、安心で安全な施設の保全や教育環境づくりに努めている点は評価できる。</li> <li>・施設改修要望等が多数ある中、限られた予算の中で必要性を精査しながら児童生徒の安心と安全を確保していることについて大いに評価できる。</li> <li>・学校以外の教育施設や行政施設について、維持管理の見直しが必要な面はあるが、住民の利便性を高めるために計画的に改修を進められている点も評価できる。</li> <li>・限られた予算における事業実施が課題である。</li> </ul>	B

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数)	重点項目総合		最終 評価
										平均値	評価	
1	生涯学習課	1	1.協働・共創のまちづくり基盤の整備	1.地域組織や地域活動の活性化	地区公民館育成事業	地区公民館活動数	回	148/280	4	4.0	B	B
2	学校教育課	2	1.防災・減災、災害対策の強化	1.地域防災力の強化と減災対策の推進	防災教育推進事業	振り返りワークシート 学校ごと実施率	%	100/100	5	5.0	A	A-
3	生涯学習課		1.互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造	3.多文化共生とユニバーサル社会の推進	障害者講座事業	延べ参加人数・ 出席者/教室・講座 登録者	人	165/300 126/220	4	4.0	B	B
4	学校教育課				スクールライフ応援事業	対象者支給率	%	99.6/100	4			
5	学校教育課				就学指導事業	適正就学率	%	77/100	4			
6	学校教育課				スクールサポーター配置事業	-	-	-	5			
7	学校教育課			1.課題を抱える子どもの支援の充実	特別支援教育推進事業	就学前スクリーニングの実施 状況・ 移行支援シート活用割合(小 から中)	%	98.2/100 11/5	5	4.7	B	B
8	学校教育課	3	2.すべての子どもが大切にされる地域づくり		小学校就学援助事業・特別 支援就学奨励事業	全児童に対する就 学援助率	%	12.7/13.5	5			
9	学校教育課				中学校就学援助事業・特別 支援就学奨励事業	全生徒に対する就 学援助率	%	14.9/13.5	5			
10	生涯学習課				放課後児童クラブ運営事業	保護者アンケートに よるプラス評価	%	94/91	5			
11	生涯学習課				放課後児童クラブ整備事業	児童クラブ利用率	%	123.8/100	4			
12	生涯学習課			2.地域全体で子育てを支える 機運の醸成	こども教育推進事業	教育推進員による掲示活動・ 「心の教育」実践活動の参加 人数(あいさつ運動は除く)	回・人	24/24 24956/20000	5			
13	生涯学習課				PTA連絡協議会共催事業	研修会・大会等参加 者数(延べ)	人	382/700	4	4.5	B	B

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績(単位)	成果実績(実績/目標)	成果実績(点数) 定性的評価(点数)	重点項目総合		最終評価
										平均値	評価	
14	子ども政策室	3	3.安心して出産、子育てできる環境の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.就学前の保育・教育の推進	幼児教育・保育無償化事業	認定者のうち償還払利用率	%	82/100	4	4.5	B	B
	子ども政策室				幼稚園児教職員健康管理事業	教職員定期健康診断受診人数、園健診(内科・歯科)受診人数	%	100/100 82/100	4			
15	子ども政策室	3	3.安心して出産、子育てできる環境の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.就学前の保育・教育の推進	幼稚園一般管理事業	-	-	-	5	4.5	B	B
16	子ども政策室				幼稚園施設改修事業	工事完成率	%	100/100	5			
17	子ども政策室	3	3.安心して出産、子育てできる環境の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.就学前の保育・教育の推進	教育委員会一般管理事業	-	-	-	4	4.5	B	B
18	教育総務課				社会人コーチ派遣事業	部活動指導員に配置による顧問の部活動指導時間の負担軽減率	%	23/20	4			
19	学校教育課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.子どもの学びと成長の土台づくり	海外留学学心募生徒数	人	15/15	4	4.4	B	B+	
20	生涯学習課				成人式事業	出席者の割合	%	76/100				5
21	生涯学習課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.子どもの学びと成長の土台づくり	地域で支える「地域未来塾」開講事業	出席率	%	80.7/100	5	4.4	B	B+
22	生涯学習課				学校情報機器保守管理事業	ネットワーク不具合による接続不能日数	日	0/0	5			
23	教育総務課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.子どもの学びと成長の土台づくり	小学校一般管理事業	-	-	-	4	4.5	B	B+
24	教育総務課				小学校スクールバス管理運行事業	バス運行経路数	経路	25/25	5			
25	教育総務課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1.地域総ぐるみの教育の場づくりの推進 2.子どもの学びと成長の土台づくり	教師用教科書・指導書購入事業(小学校)	教員への教科書配布率	%	100/100	5	4.5	B	B+
26	教育総務課				理科教育設備整備事業(小学校)	理科設備を整備した学校数	校	7/7	5			

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績(単位)	成果実績(実績/目標)	成果実績(点数) 定性的評価(点数)	重点項目総合		最終評価			
										平均値	評価				
28	教育総務課	4 1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実 2.子どもの学びと成長の土台づくり			小学校ICT環境整備事業	機器設置率	%	100/100	5						
29	教育総務課				小学校施設環境改善事業	工事完成率(便所改修)・設計・工事完成率(空調設備)	%	100/100 100/100	5						
30	教育総務課				小学校水泳指導委託事業	授業を受けた児童・泳力が向上した児童	人・%	172/172 100/100	5						
31	教育総務課				中学校一般管理事業	-	-	-	4						
32	教育総務課				中学校スクールバス管理運行事業	バス運行経路数	経路	10/10	5						
33	教育総務課				教師用教科書・指導書購入事業(中学校)	教員への教科書配布率	%	100/100	5						
34	教育総務課							中学校ICT環境整備事業	機器設置率	%	100/100	5	(4.5)	(B)	(B+)
35	教育総務課							中学校施設環境改善事業	工事完成率・設計・工事完成率(空調設備)	%	100/100 100/100	5			
36	学校教育課				事務局一般管理事業(学校教育課)	-	-	-	4						
37	学校教育課							福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト	<small>小6全国学力状況調査(算数)・中3全国学力状況調査(数学)における低学力層の割合の減、小6全国学力状況調査(算数)・中3全国学力状況調査(数学)における高学力層の増</small>	%	+4.0/-0.3 +7.2/-0.3 -2.4/+0.3 -6.7/+0.3	2			
38	学校教育課							響ブランドまなびの充実事業	<small>小6全国学力状況調査(算数)における低学力層の割合の減、中3全国学力状況調査(数学)における高学力層の増</small>	%	+4.0/-0.3 -6.7/+0.3	2			
39	学校教育課				家庭科教育研究会全国大会開催事業	全国大会参加者数(本市開催)	人	487/450	5						
40	学校教育課							AET配置活用事業	AETの話す英語が分かるようになった割合(中学生)・AETを通して外国の文化に興味を抱いた割合(中学生)	%	80.1/100 76.5/100	4			
41	学校教育課							学校図書館機能充実事業	開館日数(授業日のうち)・読書冊数(月1名あたり平均)	%・札	95/100 8/25	4			

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標)・定性的評価(-)	成果実績(単位)	成果実績(実績/目標)	成果実績(点数)・定性的評価(点数)	重点項目総合		最終評価		
										平均値	評価			
42	学校教育課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	2.子どもの学びと成長の土台づくり	指定校研究事業	-	-	-	4					
43	学校教育課				体育・文化振興事業	大会回数・近畿大会出場人数	回・人	5/5 28/5	5					
44	学校教育課				健康管理・学校保健事業	B型肝炎免疫率(養護教諭)・就学時健康診断受診率	%	87/100 100/100	5					
45	学校教育課				労働安全衛生管理体制整備事業	月60時間以上時間外勤務者の全体に占める割合(小学校・年間)・月60時間以上時間外勤務の全体に占める割合(中学校・年間)	%	2.8/15 3.1/15	4					
46	学校教育課				心の居場所づくり推進事業	不登校児童生徒数(小中計)・不登校に対する入級率(小中計)	人・%	136/100 16.9/25	4					
47	学校教育課					不登校対策推進事業	不登校児童生徒のうち関係機関の相談・支援につながった割合	%	74.2/65	4			(B)	(B+)
48	学校教育課						新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(学校感染症対策等)	予算執行率	%	100/100	5		(4.5)	
49	学校教育課			小学校児童教職員健康安全管理事業	教職員定期健康診断受診率・児童学校健康(内科結核等)受診率	%	100/100 99.9/100	5						
50	学校教育課			中学校生徒教職員健康安全管理事業	教職員定期健康診断受診率・学校健康(内科結核等)受診率	%	100/100 100/100	5						
51	学校教育課			中学校自転車通学安全対策事業	ヘルメット助成該当校ヘルメット着用率	%	100/100	5						
52	学校給食センター			学校給食管理運営事業	給食実施数/給食実施予定数	回	190/190	5						
53	学校給食センター			学校給食費公会計化事業	業務完了率	%	100/100	5						
54	学校教育課	3.豊かな人間性を育む教育の実践			学校芸術祭事業	音楽祭参加者数・下村情クラブ応募作品数	人・点	683/800 1907/2500	4		B	B		
55	学校教育課				教職員資質向上事業	けやき賞応募	人	6/6	5			4.3	B	

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績(単位)	成果実績(実績/目標)	成果実績(点数) 定性的評価(点数)	重点項目総合		最終評価
										平均値	評価	
56	学校教育課	4	1.子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	3.豊かな人間性を育む教育の実践	学校運営事業	プラネタリウム植物園見学実施率	%	100/100	5			
57	学校教育課				教育研究事業	-	-	4				
58	学校教育課				響プランF心の充実事業	小6全国学力状況調査回答率(自分のよいところがあると思つた) 中5全国学力状況調査回答率(得点の多や目標を掲げている)	%	86.7/100 67.8/100	4			
59	学校教育課				いじめ根絶対策事業	いじめ認知件数(小中計)	件	1827/2000	4	(4.3)	(B)	
60	学校給食センター				学校給食センター・ジビエ活用事業	提供回数	回	2/2	5			
61	生涯学習課				少年補導センター運営事業	注意助言件数(少年補導委員)	人	12/0	4			
62	生涯学習課				青少年健全育成事業	健全育成大会参加者数	人	91/150	4			
63	生涯学習課				1.生涯にわたり学び続けられる機会の充実	社会教育委員会議運営事業	提言実施数	回	0/0 隔年実施	5		
64	生涯学習課					生涯学習一般管理事業	まちづくり出前講座実施回数	回	8/12	4	4.5	B
65	生涯学習課	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	夜久野町生涯学習センター事業	利用者数	人	13423/16000	4					
66	生涯学習課		夜久野町生涯学習センター改修事業	工事完了件数・業務完了件数	件	2/2 1/1	5					
67	中央公民館		中央公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	31954/44000 2247/2500	4	3.6	C			
68	中央公民館	2.公民館や図書館を生かした学びの場づくり	川口地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	4295/6400 416/600	4					
69	中央公民館		日新地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・公民館利用件数	人・件	8074/21000 872/1500	4					

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合		最終 評価
										平均値	評価	
70	中央公民館	4	2.それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	2.公民館や図書館を生かした学びの場づくり	北陵地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	3695/1000 150/35	4	(3.6)	(C)	(B)
71	中央公民館				六人部地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	15790/26500 1444/3200	4			
72	中央公民館				成和地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	25215/28000 1605/1500	4			
73	中央公民館				桃映地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	12130/9000 1333/1200	4			
74	中央公民館				三和地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	4367/8200 467/700	4			
75	中央公民館				夜久野地域公民館一般管理事業	夜久野町旧小学校体育施設利用者・ 夜久野町旧小学校体育施設利用件数	人・件	1662/1500 172/200	4			
76	中央公民館				大江町総合会館運営事業	総合会館利用人数・ 総合会館利用件数	人・件	20040/25000 718/700	4			
77	中央公民館				地域公民館等施設改修事業	地域公民館等施設利用者数	人	120137/128000	5			
78	中央公民館				スマートシティふくちやま生涯学習市民講座実施事業	概ね満足された人の割合	%	82/100	5			
79	中央公民館				大江地域公民館一般管理事業	公民館利用人数・ 公民館利用件数	人・件	39555/6000 506/500	4			
80	中央公民館				市民交流プラザふくちやま管理運営事業	市民交流プラザふくちやま利用者数・ 市民交流プラザふくちやま利用件数	人・件	273142/423000 3926/6400	4			
81	中央公民館				地域公民館等スマートシティ推進事業	Wi-Fi整備完了済地域公民館	館	3/3	5			
82	中央公民館				中央公民館及び地域公民館事業	一般講座参加者数・ 講座参加者満足度	人・点	7615/5600 4.34/5	4			
83	図書館	資料収集整理事業	年間来館者数(全館)・ 美利用人数(賞出入数)	人	158356/330000 9835/12200	2						

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績(単位)	成果実績(実績/目標)	成果実績(点数) 定性的評価(点数)	重点項目総合		最終評価
										平均値	評価	
84	図書館	2.それぞれの人のに適した、生涯を通じた学びの場づくり	2.公民館や図書館を生かした学びの場づくり	中央館運営事業	年間来館者数・実利用人数(貸出人数)	人	136930/302300 9855/12200	2	(3.6)	(C)	(B)	
85	図書館				年間来館者数	人	5420/5500	2				
86	図書館				年間来館者数	人	8118/14500	2				
87	図書館				年間来館者数	人	5888/7700	2				
88	図書館				保護者による10か月児への読みかせ実施率・図書館の児童書・絵本貸出冊数	%・冊	実施なし 273709/271168	2				
89	図書館				図書館システム機器等更新事業	更新作業に伴う障害発生件数	回	0/0				4
90	図書館				図書館電子書籍貸出サービス事業	年間電子書籍貸出数・年間電子図書館閲覧数	点・回	184237/180000 368006/360000				4
91	図書館				三和分館移転改修事業	三和支所への移転	式	0/1				2
92	学校教育課				3.高校生など若者の学びへの支援	3.高等学校等入学支援金支給事業	受給者数・希望進路(高校進学)をかなえた割合	人・%				10/24 100/100
93	文化・スポーツ振興課	文化財保全事業	維持管理・修繕未解決事項	件			0/0	5				
94	文化・スポーツ振興課	夜久野町化石・郷土資料館運営事業	入館者数	人			184/500	4				
95	文化・スポーツ振興課	3.学びを深められる地域資源の継承・発展	1.文化財の保護・活用と地域文化の継承	日本の鬼の交流博物館運営事業	入館者数・取材等に伴うマスメディア登場回数	人・回	10722/10000 33/25	5	4.9	B	B	
96	文化・スポーツ振興課			文化財整理事業	資料の保管状況	-	異常なし	5				
97	文化・スポーツ振興課			文化財資料移転事業	移転未保管件数	件	0/0	5				

# 評価表

番号	課名	基本政策	政策目標	施策	名称	成果実績(指標) 定性的評価(-)	成果実績 (単位)	成果実績 (実績/目標)	成果実績 (点数) 定性的評価 (点数)	重点項目総合		最終 評価
										平均値	評価	
98	文化・スポーツ 振興課	4	3.学びを深められる 地域資源の継承・発 展	1.文化財の保護・活用と地 域文化の継承	市内遺跡発掘調査事業(国 庫補助事業)	遺跡内容把握・ 保存処理点数	件・点	1/1 1/1	5	(4.9)	(B)	(B)
	文化・スポーツ 振興課											
100	学校教育課	5	1.アクティブに人生を 歩める生きがいがつく り	3.アクティブなまちの基盤と なる地域の安心・安全	子ども安全対策事業	交通安全旗配布数・ 子ども・地域安全セミ ナー参加者数	本・人	455/300 118/150	4	4.0	B	B
101	生涯学習課	7	2.仕事と調和の取れ たライフスタイルの確 立	1.男女共同参画の推進	婦人教育事業	市民参加者数	人	447/300	4	4.0	B	B+
102	教育総務課				小学校施設改修事業	工事完成率・ 营繕実施完了率	%	100/100 100/100	5			
103	教育総務課				小学校施設長寿命化事業	工事完成率	%	100/100	5			
104	教育総務課				中学校施設改修事業	工事完成率・ 营繕実施完了率	%	100/100 100/100	5			
105	教育総務課				中学校施設長寿命化事業	工事完成率	%	100/100	5			
106	学校給食セン ター	9	1.公共施設の最適化	1.持続可能なまちづくりに 向けた公共施設の再配置	学校給食センター設備改修 事業	業務完了率	%	100/100	5			
	生涯学習課				旧勤労青少年ホーム施設管 理事業	教育相談延べ件数	件	1454/1200	5			
107	生涯学習課				教育文化会館管理運営事業	施設利用者数	人	2473/8000	4			
108	生涯学習課				和久市公園管理事業	-	-	5				
110	中央公民館				桃映地域公民館等整備事業	桃映地域公民館新 築完了	件	0/1	5			
	中央公民館				地域公民館等長寿命化(大 規模改修)事業	長寿命化大規模改 修完了	件	0/4	5			
111	中央公民館											

成果実績が「-」の事業は定性的な面により評価

## 10 おわりに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（地教行法）」に基づく、福知山市教育委員会が行った教育に関する事務の点検・評価につきましては、点検評価委員3名からの幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「まちづくり構想 福知山」の施策毎に、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を実施しました。

令和4年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の規模縮小や中止等があったものの、感染症対策と学びの保障の両立に努めてまいりました。

評価方法については、「事務事業評価シート」を活用し、各事務事業の業績指標の「成果実績（実績／目標）」のほかに「定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題」も含めて、事業単独での成果を達成度により評価し、施策毎に平均化して事務の評価としています。

さらに、点検評価委員の評価が反映できるように、点検評価会議での議論による意見を最終評価とすることとしました。

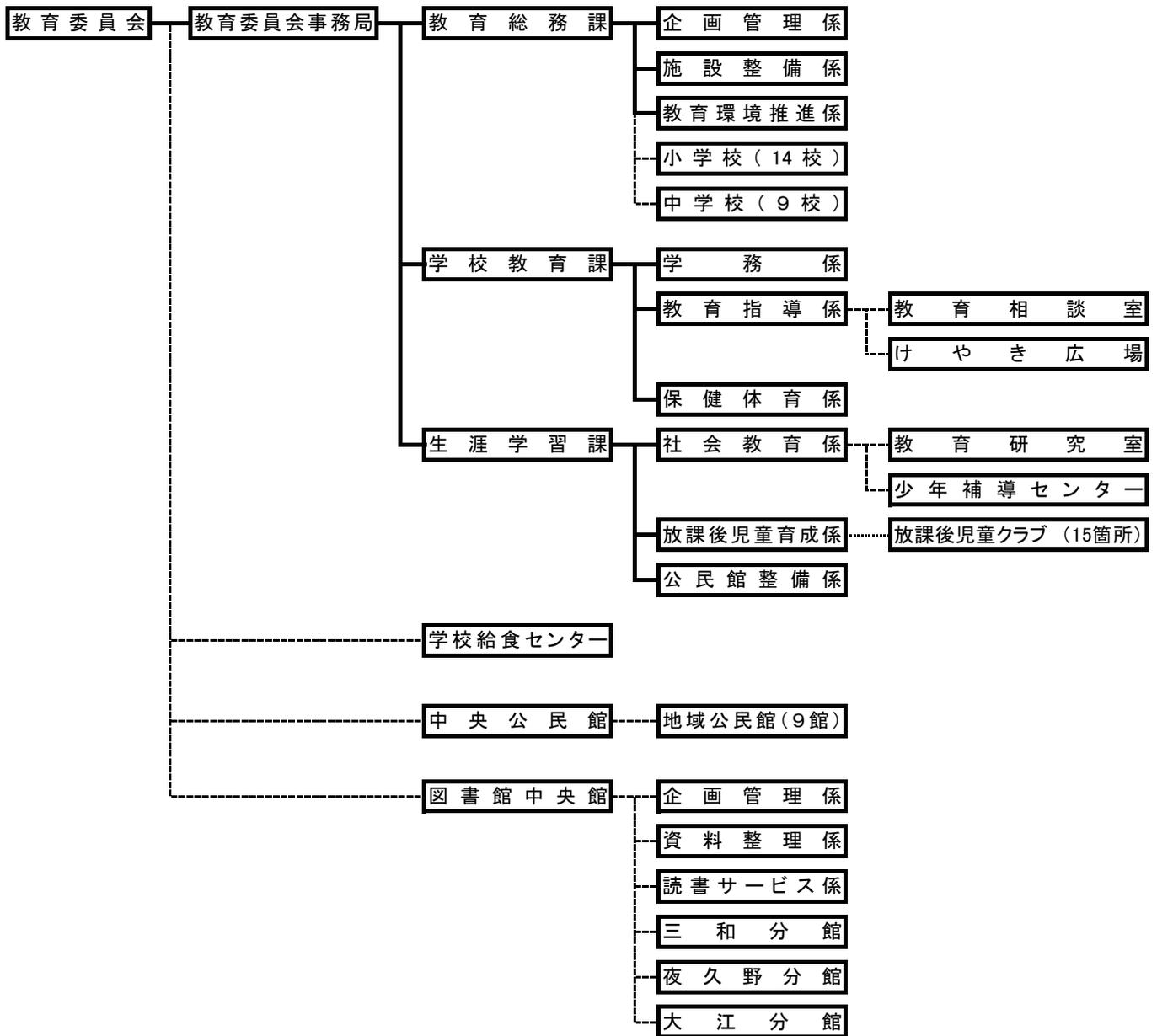
なお、点検評価会議での意見を踏まえ、各事務事業の具体的な目標設定を図り、更に分かりやすい点検・評価報告となるように努めてまいります。

この教育委員会教育事務に関する「点検・評価」については、その結果を議会に報告し公表することにより、教育委員会の責任体制の明確化を図るものとして、地教行法に義務づけられています。福知山市教育委員会といたしましても、毎年の事務事業の結果を点検・評価したうえで、その改善策を検討し、これを実行に移すという、PDCAサイクルの過程を公表していくことは、教育委員会の果たすべき役割とその意義を広く市民の皆様を知っていただく絶好の機会であると捉えています。

今後この「点検・評価」により、自己の業務を振り返り更なる改善に努めるとともに、市民の皆様に対してより一層わかりやすく丁寧な説明を心がけ、市民の皆様とともに歩む教育行政の推進に取り組んでまいります。

11 資料

(1) 教育委員会組織機構図 (令和4年度)



## (2) 教育委員会事務分担表（令和4年度）

教育総務課	<p>委員会の議事及び秘書に関すること。          儀式及び表彰に関すること。          条例、規則等の制定、改廃等法制に関すること。          市費負担職員（幼稚園を除く。以下同じ。）の人事、給与及び服務に関すること。          学校（幼稚園を除く。以下同じ。）の設置、廃止及び認可に関すること。          学校施設（幼稚園を除く。以下同じ。）の整備に関すること。          学校の教材、教具及び設備に関すること。          委員会の重要施策の総合調整及び統括に関すること。          委員会の予算の調整及び執行管理に関すること。          委員会の職員の研修及び能力開発に関すること。          委員会の主管事務に係る法制に関すること。          委員会の所管に係る財産管理の総括に関すること。          委員会の広報及び広聴に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          他課の主管に属しないこと。</p>
学校教育課	<p>府費負担教職員の人事、給与及び服務に関すること。          教職員の研修及び健康管理に関すること。          教職員の組織する職員団体に関すること。          学校教育の指導に関すること。          児童生徒の就学、その他学事に関すること。          高校生、大学生等の就学奨励及び修学奨励に関すること。          学校給食並びに学校保健体育及び安全に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          その他学校教育に関すること。</p>
生涯学習課	<p>生涯学習に関すること。          成人教育、青少年教育及び婦人教育に関すること。          社会教育施設の整備に関すること。          少年補導センターに関すること。          放課後児童クラブに関すること。          ユネスコ活動に関すること。          分掌事務に係る教育行政に関する相談。          その他社会教育に関すること。</p>
学校給食センター	<p>学校給食センターの管理運営に関すること。          給食数の把握及び調理食数の指示に関すること。          給食用食材料費の支出事務及び給食費会計決算事務に関すること。</p>
中央公民館	<p>公民館の管理運営に関すること。          公民館の育成に関すること。          公民館講座に関すること。</p>
図書館中央館	<p>図書館の管理運営に関すること。          図書資料の選定・管理に関すること。          移動図書館の運行管理に関すること。</p>

### (3) 福知山市教育委員会事務点検及び評価実施要綱

平成23年3月30日  
教育委員会告示第2号

(目的)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、福知山市教育委員会（以下「委員会」という。）の権限に属する事務の管理及び執行の状況について行う点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し、必要な事項を定め、もって効果的教育行政の推進に資するとともに、市民に対する行政の透明性の確保と説明責任を果たすことを目的とする。

(点検及び評価の対象)

第2条 点検及び評価の対象は、委員会の権限に属するもので、前年度に実施した事務とする。

(点検及び評価の実施)

第3条 前条に規定する事務について、所管する課等が点検及び評価表を作成する。

2 点検及び評価の方法並びに結果について、客観性及び透明性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者（以下「点検評価委員」という。）から意見を聴取する。

3 点検及び評価に関し必要があると認めたときは、会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

4 点検及び評価が終了したときは、速やかに当該結果を委員会に諮るものとする。

(点検評価委員)

第4条 点検評価委員は3人以内とし、委員会が委嘱するものとする。

2 任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、点検評価委員が欠けた場合は、前任者の残任期間において、新たな点検評価委員を委嘱するものとする。

(市議会への報告)

第5条 委員会は点検及び評価にかかる結果を市議会に報告し、かつ、公表するものとする。

(点検及び評価結果の活用)

第6条 委員会は、点検及び評価の結果を踏まえて、事業への取組、予算編成、事務事業の改善等に活用するものとする。

(庶務)

第7条 点検及び評価に関する庶務は、教育総務課において処理するものとする。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価の実施に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成23年4月1日から施行する。

この要綱は、平成25年12月1日から施行する。

この告示は、令和元年9月4日から施行する。

令和5年度（令和4年度対象）  
**福知山市教育委員会点検・評価報告書**  
発行 令和6年1月  
編集 福知山市教育委員会

〒620-8501

京都府福知山市字内記13番地の1

TEL 0773-22-6111（代表）

FAX 0773-24-4880